

## 令和5年度（2023年度）第3回川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和5年（2023年）9月9日（土）9:30~12:00
場所	川口中学校 東校舎1階 被服室
出席者	参加者：荒井、荒木、稲原、田倉、内藤（佳）、内藤（妙）、中村、平井、古田、前川、安田、山口 都立八王子北高等学校校長：渡邊 高齢者あんしん相談センター川口：乙幡、太田 はちまるサポート川口：田中 川口中学校校長：鷺尾 川口小学校校長：石川 青少年若者課（児童館）：井垣、永井 防災課：畠山 地域づくり担当：新納、興梠、松下、和田
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>これまでの振り返りと川口中学校区地域づくり推進会議の今後の進め方について</li><li>八王子市地域づくり推進会議モデル試行実施要綱</li><li>参加届出書</li><li>生涯学習センター川口分館 令和5年度市民自由講座「川口学～川口の地域づくりを考えよう」</li></ul>

### 1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

### 2 都立八王子北高等学校より地域防災の取組及び災害対応に関するご説明

都立八王子北高等学校・渡邊校長より、同校の地域防災の取組や災害対応について説明。

〈説明内容〉

- 都立八王子北高等学校は、一時滞在施設として発災から72時間（最大3日）程度帰宅困難者の受け入れを行っている。
- 生徒の学校活動中に地震が発生した場合は、生徒が滞在中で帰宅困難者の受け入れを行う。学校活動中でないとき（夜間・休日など）に地震が発生した場合は、学校から10km以内の職員が集まり、一時滞在施設の開設を行う。
- 4日目以降は、災害時帰宅支援ステーションとして、徒歩帰宅者の支援を行う。
- 市より避難所開設の要請を受けた後に、避難所として開設する。（発災後すぐに避難所として開設される八王子市立小・中学校とは役割が異なっている。）

〈質問〉

- 10km以内の教職員は何人いるのか。一時滞在施設としてすぐに開設することは可能なのか。  
⇒（八王子北高校）10km以内の教職員は5名程度いるが、学校の近くに住んでいる職員はあまり多くない。一時滞在施設としてすぐに開設することは難しい可能性が高い。
- 避難所が開設されているかどうかの情報はどこでわかるか。  
⇒（市・防災課）市HP、防災情報メール、テレビのdボタンでも確認できる。災害時には、市HPのトップページに情報掲載する。

### 3 事務局からの報告

事務局から、8月20日（日）に開催した地域づくりフォーラムに関する報告を行った。

#### （1）川口中学校区の実践事例発表

- ・ 中村八重さんにご登壇いただき、川口中学校区地域づくり推進会議での将来ビジョンとその実現に向けたアクションプランの取組（例としてマルシェの取組）、取組の中で見えてきている課題や今後の展開についてお話しいただいた。

#### （2）意見交換会（ポスターセッション）について

- ・ 「地域に根差す団体と行政の関わり」というテーマを設定し、「川口中学校区学校運営協議会の取組について」を田倉聖一さん、「川口中学校区のPTAの取組について」を外山朋子さん、内藤佳代子さん、安田美樹子さんに、それぞれポスターにまとめていただき、発表していただいた。
- ・ 「大学生から見た地域づくり」というテーマでは、法政大学谷本ゼミの学生の方々に、川口中学校区地域づくり推進会議についてポスターを作成し、発表していただいた。

### 4 これまでの振り返りと川口中学校区地域づくり推進会議の今後の進め方について

事務局から資料をもとに説明。

〈説明内容〉

これまでの振り返り

- ・ 今年度、推進会議で取り組んでいきたいことは、以下の2点
  - ① 地域において抱えている課題への対応
  - ② 地域自治モデルの検討
- ・ 「①地域において抱えている課題への対応」こそが、この推進会議で取り組むべき最優先事項であることを改めて確認したい。
- ・ 「①地域において抱えている課題への対応」としては、これを実現するため、推進会議の役割・機能を整理して、地域において抱えている課題へしっかりと対応できる体制を整備していくことが必要。
- ・ これまでの推進会議での取組における問題（推進会議は行政内部の取組となるため、補助金等の活動資金を得ることや、資金管理のための口座開設ができない等）を解消するため、推進会議の役割・機能は、参加団体間の連携・調整・補完・情報共有及び行政との連携・調整・相談・検討として市において整理したうえで、課題にしっかりと対応できる体制として、推進会議参加者の皆さんを中心に、中学校区での地域づくりの推進に向けて活動する団体を設立し、設立した団体を市に届出、市が承認することで、市が支援しながら活動を展開できるようにする「地域づくり認定団体制度」を構築しようとしている。
- ・ 「②地域自治モデルの検討」については、この課題にしっかりと対応できる体制を、推進会議の中で検討し実現していくことが「川口中学校区版の地域自治」の一つと考えており、この体制が構築できたうえで、さらに将来的な地域自治の可能性も考えていきたい。

今後の進め方

- ・ 今年度は、「推進会議の取組をもとに活動できる組織（＝地域づくり認定団体）を設立し、課題へしっかりと対応できる体制を構築すること」を目標とし、検討を行っていききたい。

## 5 部会ごとの検討及び発表

部会ごとに分かれ、以下の項目について検討し、発表を行った。

### 検討項目

- ・ 現状の部会活動での問題
- ・ 地域づくり認定団体があれば、その問題が解消できるか？
- ・ 解消できない問題はどうか？

## 6 各部会の活動状況等の共有

### (1) 地域防災部会

- ・ 7/26 の会議において、消防団の3名の部長に来ていただき、各担当地域の防災上危険な箇所や今後の課題についての情報交換を行った。

### (2) マルシェ部会

- ・ 9/16、17 にコピオ櫛原で「川口マルシェ」を行う。町会自治会の掲示板へのポスター掲示や、Instagramで周知を行っている。個人宅でもポスターを貼ってくれるという人は声をかけていただきたい。
- ・ 今後、11月には「やまゆり館まつり」、12月、来年3月にもマルシェ開催を予定している。いろいろなことを同時進行していく必要があり、分担しながらできるメンバーを増やしていきたい。

## 7 その他

事務局より、「八王子市地域づくり推進会議モデル試行実施要綱」の改正に伴い、推進会議の参加者は同要綱に定める「参加届出書」の提出が必要である旨を説明し、提出をお願いした。

## 8 閉会

以上